



(写真提供：常陸太田市)

今月の1枚

竜神大吊橋

奥久慈県立自然公園内に位置する竜神大吊橋は、久慈川水系竜神川の浸食によって出来た溪谷・竜神峡に架かる「本州一長い」歩行者専用の吊り橋です。平成6年に開通し、全長446m(中央支間375m)、ダム湖面から高さ100mを誇っています。その壮大な姿は、訪れる人々に天空を優雅に舞い上がる竜を想い起こさせます。

竜神大吊橋は、世界一の長さを誇る明石海峡大橋と同じ構造となっています。設計にあたっては、厳しい自然条件にも耐え得るよう安全性に十分な注意を払い、一度に3,500人が渡ることが出来るよう細心の工夫が凝らされました。また、橋を支える主塔は、竜神峡に伝わる伝説の竜が天に昇るイメージでデザインされています。建設当時、竜神大吊橋は日本一の長さでした。平成18年に建設された大分県の九重“夢”大吊橋(中間支間390m)にその称号を譲り、今では「本州一」となっています。

しかし竜神大吊橋は、竜の形をした竜神湖(竜神ダム湖)へジャンプする「高さ100mからのバンジー」で「日本一」に返り咲きました。高い場所を得意とする方々が口を揃えて、想像以上のスリルと語るほどです。竜神バンジーに挑戦しなくても、吊橋の床に設けられたガラス窓を覗き込めば、“高さ100mのスリル”を体験することも出来ます。

四季折々の美しい自然景観が魅力の竜神峡は、原生林が多く、竜のように屈曲しており、雄大な自然景観を作り出しています。古くは、寛政年間(1791～7)『美ち艸』(雨宮瑞亭著)、文化七年(1810)『八溝紀行』(郡奉行入江正身著)にも記され、竜神峡の代表的な淵の一つである亀ヶ淵には、竜が棲んでいたとされています。

また竜神大吊橋周辺には、竜神峡を楽しむハイキングコース〔竜神大吊橋→亀ヶ淵→武生林道→竜神ふるさと村→竜神ダム(全9km)〕も整備され、野鳥の声や川のせせらぎ、色鮮やかに染まる木々など、豊かな溪谷が織りなす美しい景観に触れることが出来ます。林道を登った先の武生山の展望台からは、遠く富士山や日光連山などの眺望を楽しむことが出来ます。

この秋、ご家族・ご友人との思い出の1ページに、竜神大吊橋周辺の紅葉狩りを追加してみたいはいかがでしょうか。

(筑波総研㈱ 研究員 富山かなえ)



◆所在地：茨城県常陸太田市天下野町2133-6

アクセス：

(車)常磐自動車道那珂IC、日立南太田ICより約40分

(電車)JR水郡線常陸太田駅から茨城交通バス下高倉行きで約40分